

株主の皆さまへ

— 第98期 —

株 主 通 信

2017年4月1日～2018年3月31日

LIFE with ASKA

先端の創薬を通じて、
人々の健康と明日の医療に貢献する



コーポレートキャラクター

あすかちゃん



あすか製薬株式会社

証券コード 4514

売上高は2期連続で過去最高を更新 新薬「リフキシマ」など、主力製品の売上拡大による大幅な増益達成 経営ビジョン実現に向けた事業を積極的に展開



代表取締役社長

山口 隆

株主の皆さまには平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第98期（2017年4月1日から2018年3月31日まで）の事業概況をご報告するにあたり、ご挨拶申し上げます。

昨年12月に長期処方が可能となった難吸収性リファマイシン系抗菌薬「リフキシマ」の売上が順調に拡大したほか、オーソライズド・ジェネリック「カンデサルタン類」、LH-RH誘導体マイクロカプセル型徐放性製剤「リュープロレリン」等の主力製品が大きく伸び、2期連続で過去最高の売上高を更新、営業利益、経常利益ともに大幅な増益を達成しました。

研究開発においては、重点領域である内科・産婦人科・泌尿器科を中心に創薬研究および臨床開発を推進するとともに、導出入活動や事業提携戦略も積極的に展開し、各領域の製品ラインアップ拡充に努めました。

目次

株主の皆さまへ	1
事業の概況	3
トピックス	5
主要製品	7

連結財務諸表	8
会社概要	9
株式の概況	10

本年4月には、多様化する医療ニーズに対応するため、ヘルスケア事業推進室、内分泌事業推進室を新設したほか、原価低減の取り組みとしてOmnicare社との共同出資によるインドにおける医薬品工場建設に合意するなど、新たな事業展開も積極的に進めております。

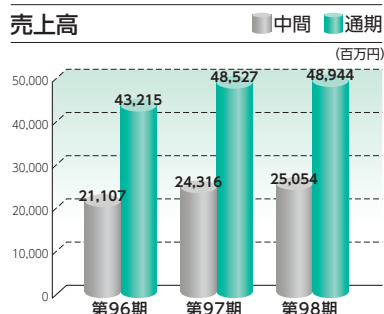
当社グループは、経営ビジョン「競争力のあるペシャリティファーマ」の実現に向け、対処すべき課題に取り組むとともに、さらなる結束を深め、社員一丸となって邁進してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

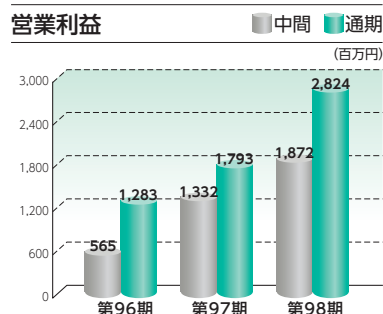
2018年6月

財務ハイライト (連結)

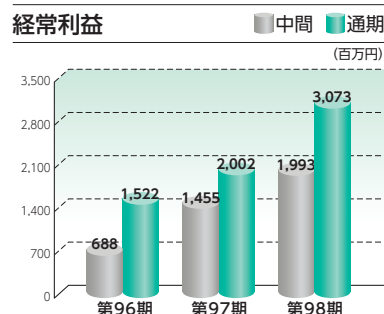
売上高



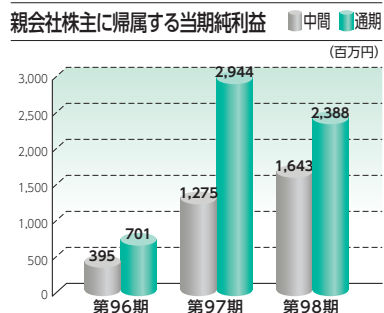
営業利益



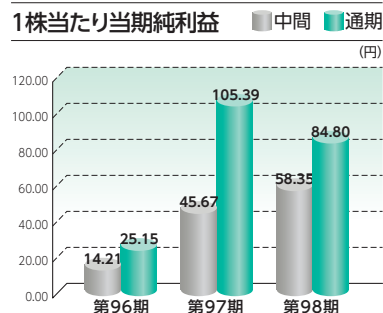
経常利益



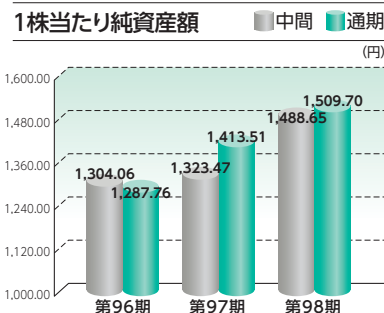
親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり当期純利益



1株当たり純資産額



(注) 当期末の自己資本比率は64.3%です。

事業の概況

当連結会計年度の売上高は、前連結会計年度から4億1千6百万円増加し、489億4千4百万円(前連結会計年度比0.9%増)となり、4期連続の増収を達成するとともに、前連結会計年度に続き2期連続で過去最高を更新しました。利益面につきましては、前連結会計年度に計上した開発候補品導入に係る一時費用がなくなったこと等により販売費及び一般管理費が減少したことから、営業利益28億2千4百万円(前連結会計年度比57.4%増)、経常利益30億7千3百万円(前連結会計年度比53.5%増)といずれも大幅な増益となりました。一方、親会社株主に帰属する当期純利益は、前連結会計年度に福島県からの補助金収入25億5千8百万円を特別利益に計上していたことの反動により、23億8千8百万円(前連結会計年度比18.9%減)となりました。

【セグメント別の業績】

医薬品事業

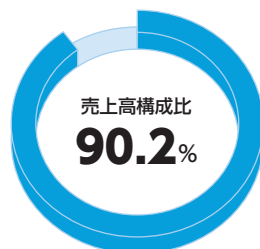
本年4月に実施された薬価改定前の買い控えの影響や長期収載品の売上減少等がありましたが、昨年12月に長期処方が可能となった難吸収性リファマイシン系抗菌薬「リフキシマ」の売上拡大やオーソライズド・ジェネリック「カンデサルタン類」、LH-RH誘導体マイクロカプセル型徐放性製剤「リュープロレリン」等の主力品の伸長によりカバーし、売上高は441億2千7百万円(前連結会計年度比0.1%増)と前連結会計年度比で微増となりました。セグメント利益につきましては、研究開発費等の減少で販売費及び一般管理費が減少したことから、50億7千4百万円(前連結会計年度比21.7%増)と増益となりました。

なお、当連結会計年度において、産婦人科、泌尿器科領域のラインアップの充実を目的として、平成30年1月にDSファーマバイオメディカル株式会社との間で、体外診断用医薬品「ラピッドエスピー®《クラミジア》」の共同販促契約を締結し、平成30年2月よりコ・プロモーションを開始いたしました。

その他

動物用医薬品、臨床検査、医療機器、食品等の各事業を展開しているその他事業の業績は、主に動物用医薬品事業が順調に推移したことにより、売上高48億1千6百万円(前連結会計年度比8.4%増)、セグメント利益2億1千1百万円(前連結会計年度比301.8%増)となりました。

医薬品事業



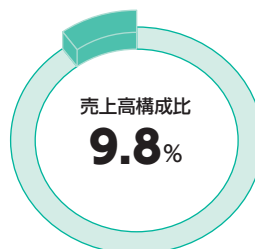
売上高

441億2千7百万円
前年同期比 **0.1%** ↑

セグメント利益

50億7千4百万円
前年同期比 **21.7%** ↑

その他



売上高

48億1千6百万円
前年同期比 **8.4%** ↑

セグメント利益

2億1千1百万円
前年同期比 **301.8%** ↑

【研究開発の状況】

研究開発につきましては、重点領域である内科・産婦人科・泌尿器科領域を中心とした創薬研究および臨床開発を推進するとともに、導出入活動および事業提携戦略も積極的に展開しております。

選択的プロゲステロン受容体調節剤CDB-2914（ウリプリスタル）は、平成29年10月に子宮筋腫を対象とした第Ⅲ相臨床試験を開始いたしました。また、開発加速化を図ることを目的として、平成29年12月にA&M医薬開発合同会社との間で共同開発契約を締結いたしました。

難吸収性抗菌薬L-105（リファキシミン）は、効能追加に必要な臨床試験の準備中でありましたが、平成30年4月より第Ⅰ相臨床試験を開始しております。

なお、当連結会計年度において、平成29年12月に米国TesoRx Pharma LLCとの間で、新規経口テストステロン剤「TSX-011」（旧開発コード：THG-1001）の日本における開発および販売に関する独占的な提携契約について、新たにテリトリーとして東南アジア諸国を加える等の変更を加えた修正提携契約を締結いたしました。

開発パイプライン（2018年5月時点）

開発コード/領域・効能	フェーズⅠ	フェーズⅡ	フェーズⅢ	申請	承認
CDB-2914（ウリプリスタル） 子宮筋腫					
AKP-501（rFSH製剤） 不妊症					
L-105（リファキシミン） クローン病	フェーズⅠ 開始				
L-105（リファキシミン） 肝性脳症（小児）	（準備中）				
AKP-015（T4注射剤） 粘液水腫性昏睡/重症甲状腺機能低下症	フェーズⅠ 開始				
AKP-009 前立腺肥大症	（準備中）				
NPC-16 ※ 婦人科領域（月経困難症）					2018年6月 予定

※ノーベルファーマ開発および製造販売

◆ インドに医薬品製造を目的とした合併会社設立合意

2018年4月、当社は、アラブ首長国連邦(UAE)の医薬品製造販売会社neopharma LLCと業務提携し、同社の子会社であるOmnicare Drugs India Private Limitedとの共同出資による医薬品製造目的の合併会社をインド共和国に設立することに合意いたしました。

neopharma LLCはUAEを本拠地とし、中東・北アフリカをはじめとする新興国を中心に医薬品製造・販売事業を展開しています。

このたび、高品質な医薬品を低コストで製造するグローバルな生産拠点を持つことで、医薬品事業の拡大を図り人々の医療に貢献するという両社の意向が合致し、合併会社により医薬品製造工場を建設することといたしました。建設予定地はインド共和国のビシャカパトナムで、2020年の稼働を予定しております。

なお、当社は福島県のいわき工場での医薬品の生産を行っており、本邦での安定的な供給体制を維持するため、引き続き同工場での医薬品製造を行ってまいります。



neopharma LLCのFounder&Chairman Dr.B.R.Shetty (右)と当社 山口社長(左)による調印式

◆ DSファーマバイオメディカルと体外診断用医薬品「ラピッドエスピー®《クラミジア》」に関する共同販促契約締結

2018年1月、DSファーマバイオメディカル株式会社と、同社が製造販売する体外診断用医薬品クラミジア抗原キット「ラピッドエスピー®《クラミジア》」の共同販促(コ・プロモーション)契約を締結し、同年2月より本診断薬のコ・プロモーションを開始いたしました。

「ラピッドエスピー®《クラミジア》」は、簡便な操作により10分の反応時間でクラミジア感染症の検査が可能な製品です。検査結果を即日得ることができるため、その日のうちに適切な治療を開始することが可能となります。

当社は、本診断薬のコ・プロモーション活動を通じ、産婦人科・泌尿器科のスペシャリティファーマとしてさらなるプレゼンス向上に努めてまいります。

◆ リフキシマ 発売1周年の取り組み

2017年12月に、リフキシマの発売1周年記念講演会を開催いたしました。本講演会では、日本肝臓学会理事長の小池和彦先生をはじめ、イタリア Padova 大学 Dr.Sara Montagnese による特別講演など、多くの著名な先生方にご登壇いただきました。当日は400名を超す専門医の出席があり、「リフキシマの理解度が高まった」「第一選択薬として考えていきたい」などの意見が寄せられ、高い関心がうかがえました。

また、2018年1月には、報道媒体（メディア）に対しプレスセミナーも開催し、肝性脳症の疾患啓発も行いました。

当社は引き続き、リフキシマの適正使用情報活動を通じて、肝性脳症に苦しむ患者さまのQOLをさらに向上させるとともに製品価値の最大化に努めてまいります。



Dr.Sara Montagneseによる
発売1周年記念特別講演:品川プリンスホテル

◆ 米国TesoRx社と新規経口テストステロン剤「TSX-011」に関する追加提携

2017年12月、米国TesoRx Pharma LLCとの新規経口ウンデカン酸テストステロン剤「TSX-011」の日本における開発および販売に関する独占的な提携契約（2016年12月締結）について、新たなテリトリーとして東南アジア諸国を加える等の修正提携契約を締結いたしました。

今回の追加提携により、当社は日本に加えて、韓国、シンガポール、タイ、台湾、ベトナム、フィリピン等の主要東南アジア諸国における「TSX-011」の開発および販売権に関する独占的なオプション権を取得し、併せて当社が開発中の男児体質性思春期発育遅延（CDGP）の治療を目的とした経口テストステロン剤の開発および販売権に関する独占的なオプション権も取得いたしました。

「TSX-011」およびCDGP治療剤は、当社が注力する泌尿器科領域の医療ニーズに対応する医薬品として、日本および東南アジア諸国において新たな治療の選択肢を提案するものと考えております。

主要製品

医療用医薬品

内 科	リフキシマ	難吸収性抗菌剤
内 科	カンデサルタン類	高血圧症治療剤
内 科	リピディル	高脂血症治療剤
内 科	アムロジピン	高血圧症治療剤
内 科	チラーゼン	甲状腺ホルモン剤
産婦人科	ノルレボ	緊急避妊剤
産婦人科	アンジュ	経口避妊剤
産婦人科 泌尿器科	リュープロレリン	前立腺癌・乳癌・子宮内膜症治療剤
泌尿器科	ビカルタミド	前立腺癌治療剤
泌尿器科	プロスタール	前立腺肥大症・癌治療剤



リフキシマ



カンデサルタン類



リピディル



チラーゼン



ノルレボ



アンジュ



リュープロレリン



プロスタール



内 科 2017年12月発売

●潰瘍性大腸炎治療剤
メサラジン腸溶錠400mg「あすか」



内 科 泌尿器科 2018年6月発売予定

●経口そう痒症改善剤
ナルフラフィン塩酸塩カプセル
2.5μg「あすか」

動物用医薬品

アイブロシンプラス	豚・鶏呼吸器疾患治療剤
レジプロン	プロスタグランジンF2α類縁体製剤



アイブロシンプラス



レジプロン

連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	前連結会計年度 2017年3月31日現在	当連結会計年度 2018年3月31日現在
資産の部		
流動資産	37,059	35,792
現金及び預金	14,761	10,221
受取手形及び売掛金	9,485	10,400
有価証券	500	1,125
その他	12,312	14,045
固定資産	29,067	30,442
有形固定資産	12,829	12,091
無形固定資産	3,491	3,334
投資その他の資産	12,746	15,016
投資有価証券	8,714	11,747
その他	4,031	3,269
資産合計	66,126	66,235
負債の部		
流動負債	16,253	14,214
固定負債	10,361	9,460
負債合計	26,615	23,675
純資産の部		
株主資本	36,965	39,052
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	851	851
利益剰余金	37,312	39,280
自己株式	△ 2,396	△ 2,278
その他の包括利益累計額	2,545	3,507
その他有価証券評価差額金	2,726	3,657
退職給付に係る調整累計額	△ 180	△ 149
純資産合計	39,511	42,559
負債純資産合計	66,126	66,235

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前連結会計年度 2016年4月1日から 2017年3月31日まで	当連結会計年度 2017年4月1日から 2018年3月31日まで
売上高	48,527	48,944
売上原価	29,614	30,059
売上総利益	18,913	18,884
返品調整引当金繰入額	0	0
差引売上総利益	18,913	18,884
販売費及び一般管理費	17,119	16,060
営業利益	1,793	2,824
営業外収益	441	414
営業外費用	232	164
経常利益	2,002	3,073
特別利益	2,558	—
特別損失	1,260	10
税金等調整前当期純利益	3,300	3,063
法人税等	356	674
当期純利益	2,944	2,388
親会社株主に帰属する当期純利益	2,944	2,388

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前連結会計年度 2016年4月1日から 2017年3月31日まで	当連結会計年度 2017年4月1日から 2018年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,063	76
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 378	△ 3,348
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,384	△ 1,142
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	△ 0
現金及び現金同等物の増減額	9,299	△ 4,415
現金及び現金同等物の期首残高	5,462	14,761
現金及び現金同等物の期末残高	14,761	10,346

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要 (2018年6月28日 現在)

会社の概要

社名	あすか製薬株式会社 ASKA Pharmaceutical Co.,Ltd.
設立	1929年6月28日 (創立1920年6月16日)
資本金	11億9,790万円
主な事業内容	医薬品、動物用医薬品、医薬部外品、食品および医療機器等の製造・販売ならびに輸出入
主な事業所	東京都港区芝浦二丁目5番1号
本社	川崎研究所 (神奈川県川崎市)
研究	いわき工場 (福島県いわき市)
工場	札幌営業所、仙台営業所、
営業	郡山営業所、東京営業所、
	横浜営業所、さいたま営業所、
	千葉営業所、宇都宮営業所、
	新潟営業所、松本営業所、
	金沢営業所、名古屋営業所、
	静岡営業所、京都営業所、
	大阪営業所、神戸営業所、
	高松営業所、広島営業所、
	福岡営業所、熊本営業所
従業員数	856名 (連結) 786名 (単体) (3月31日現在)

子会社

会社名	資本金 百万円	当社の 議決権比率 %	主要な事業内容
(株)あすか製薬メディカル	30	100	検査事業、ヘルスケア事業、飼育関連業務
あすかアニマルヘルス(株)	100	100	動物用医薬品、飼料および飼料添加物等の製造、販売ならびに輸出入

(注) 当社は、2017年4月1日を効力発生日として、当社の連結子会社であったあすかActavis製薬株式会社を吸収合併しております。

役員 (2018年6月28日現在)

役員	代表取締役社長 全社統括	山口 隆
	専務取締役 社長補佐	丸尾 篤嗣
	常務取締役 開発、海外事業、ヘルスケア事業担当	加藤 和彦
	取締役 常務執行役員 営業統括	福井 雄一郎
	取締役 常務執行役員 創薬研究担当	山口 惣大
	取締役 常務執行役員 生産担当、管理本部長	熊野 郁雄
	社外取締役	上田 栄治
	社外取締役	吉村 泰典
	社外取締役	山中 通三
	常勤監査役	齋藤 守信
	常勤監査役	小松 哲
	社外監査役	折木 榮一
	社外監査役	木村 高男
執行役員	執行役員 信頼性保証担当、100周年事業推進室長	村上 誠
	執行役員 特命事項担当 (株)あすか製薬メディカル代表取締役社長)	蓮見 幸市
	執行役員 監査、法務・コンプライアンス、特命事項担当	寺本 裕国
	執行役員 生産本部長	仲田 崇夫
	執行役員 創薬研究本部長	濱 寄 秀久
	執行役員 開発本部長	軍 司 国弘
	執行役員 ヘルスケア事業推進室長	庭山 芳樹
	執行役員 営業本部長	鬼頭 秀滋

株式の概況 (2018年3月31日 現在)

株式の状況

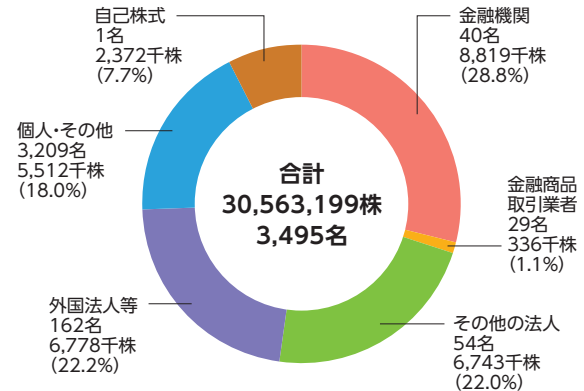
発行可能株式総数	90,000,000株
発行済株式総数	30,563,199株
単元株式数	100株
株主数	3,495名

大株主（上位10位）

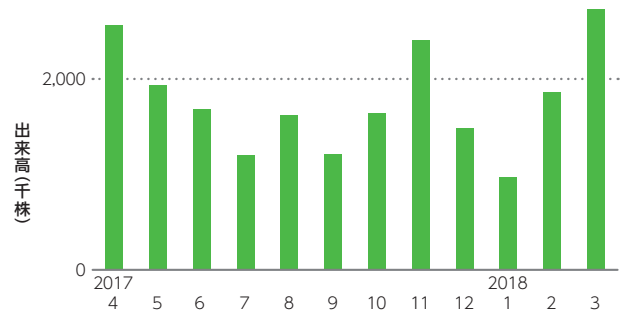
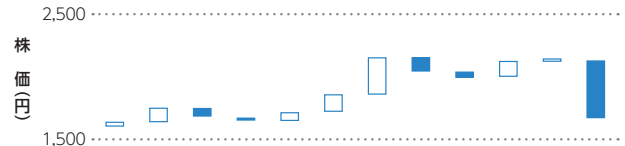
株 主 名	所有株数 (千株)	持株比率 (%)
1. 武田薬品工業株式会社	2,204	7.82
2. 日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	1,495	5.30
3. 株式会社三菱東京UFJ銀行	1,100	3.90
4. CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	976	3.46
5. 山口 隆	914	3.24
6. 日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	816	2.89
7. あすか製薬従業員持株会	604	2.14
8. 株式会社ヤマグチ	556	1.97
9. あいおいニッセイ同和損害保険 株式会社	530	1.88
10. 日本生命保険相互会社	522	1.85

(注) 1. 当社は自己株式を2,372,342株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



株価および出来高



●株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 電話（通話料無料）0120-232-711
同 連 絡 先	
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所 市場第一部
電子公告により行う 公告掲載URL	http://www.aska-pharma.co.jp/invest/index.html
公 告 の 方 法	（ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。）

●株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会等の内容	証券会社等に口座をお持ちの場合	特別口座*の場合
・単元未満株式の買増・買取請求 ・届出住所・姓名などのご変更 ・配当金の受領方法・振込先のご変更	お取引の証券会社等にお問い合わせください。	三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ ・特別口座に関するお問い合わせ	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 電話（通話料無料）0120-232-711 http://www.tr.mufg.jp/daikou/	

特別口座* 株券電子化前に証券保管振替機構（ほふり）に預託していなかった株券の株主様の権利を保全するために、三菱UFJ信託銀行に開設した口座です。
特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。

●ご案内：少額投資非課税口座（NISA口座）における配当等のお受取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関（証券会社等）を通じて配当等を受取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。

NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。



本 社 〒108-8532 東京都港区芝浦二丁目5番1号
TEL.03 (5484) 8361(代) FAX.03 (5484) 8351
http://www.aska-pharma.co.jp/

株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4514

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。（タイトル、本文は無記入）アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセス出来ます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセス出来ます。



※本アンケートは、株式会社 a2media（エー・ツー・メディア）の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
（株式会社 a2media についての詳細 <http://www.a2media.co.jp>）
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ
「e-株主リサーチ事務局」

TEL:03-5777-3900（平日 10:00～17:30）
MAIL:info@e-kabunushi.com

